

✿ **立憲民主党 参議院議員 牧山ひろえ**

このたびは「緑の党第 10 回定期総会」のご開催を心よりお慶び申し上げます。またご参集の皆様方には、日頃よりご支援、ご高配を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。引き続き、皆様と共に、政治への信頼回復、そしてこのコロナ禍で生じてしまった様々な諸課題の解決に向けて、力を尽くして参ります。

今後ともご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。結びに、本日ご参集の皆様方の今後益々の活躍とご健勝、ご多幸を心より祈念いたします。

✿ **音楽評論・作詞 湯川れい子**

感染症のパンデミックは、疲弊した地球からの警告だと言われて来ました。目の前のコロナ対策も緊急事態ですが、温暖化の問題、地震や国際紛争に際しての原発の安全性など、緑の党の使命は重く大きなものだと思います。会員としても、党としても、ぜひ頑張っていたきたいと思っています。

✿ **社民党党首 参議院議員 福島みずほ**

緑の党第 10 回定期総会本当におめでとうございます。心から連帯のご挨拶をいたします。

現在コロナ禍の中、命と暮らしを守ることができるのか大変な状況です。菅政権が、命と暮らしを守らないと言うことに関して、政治を本当に変えていきたいと考えています。

また気候危機も深刻です。この気候危機を乗り越えるために、脱化石燃料、そして脱原発をしっかりと実現をしていきましょう。

今年はエネルギー基本計画の改定の時です。菅総理は 2050 年までに実質的にカーボンゼロと言いますが、道筋が明らかではありません。現在日本において、大規模石炭火力発電所の建設は進んでおり、また石炭火力発電所の輸出も続いています。また、原子力政策の推進を打ち出しています。一緒に脱化石燃料、脱原発を力強くやっていききたいと思います。

緑の党が、ローカルでグローバルな視点を持ち、ジェンダー平等に基づいて、活動され続けていることに心から敬意を表します。

世界では、ヨーロッパを始め緑の党の躍進が続いています。気候危機の今だからこそ地域から、社会を、政治を、世界を変えることが強く求められているからだと思います。

現場の草の根民主主義の実践としっかり結びついて、共にネットワークや連携を強化し、政治を変えていきたいと思っています。

緑の党の党员のみなさん、支援者のみなさん、どうかこれからも活動を共にさせていただくことを申し上げ、連帯の挨拶とさせていただきます。

✿ **新社会党 中央執行委員長 岡崎宏美**

コロナ禍は、新自由主義政策が生み出し、拡大させてきた社会のひずみ、分断の姿を余すところなく明らかにしました。しかし、安倍首相の後を受けて誕生した菅政権の掲げるスローガン「自助・共助・公助」は、まさしく新自由主義のスローガンです。この経済優先・命軽視の政策によって感染者が急増し、医療崩壊の危機に直面しています。

腹立しくかつ不安な 2021 年初頭ですが、昨年未から良いこともありました。一つは、国連で取り組んできた核兵器禁止条約が 1 月 22 日に発効したこと、二つ目は、米トランプが大統領選で敗北したこと、3 つ目には、大阪維新の進める「大阪都構想」が否決されたことです。すでに承知のように米バイデン新政権は、地球温暖化対策を進めているパリ協定や WHO への復帰を表明しました。

世界ではリーマンショックを超える経済危機が始まるとの警告が発せられ、民衆の生存と不安定はさらに進行しています。

一方、日常生活に不可欠な医療、介護、保育、食料調達や物資配達する仕事、清掃やライフラインを維持するための労働は休むことはできず、感染の危険にさらされながら低賃金で働かされ続けているキーワーカー(エッセンシャルワーカー)、公共サービスの重要性が改めて見直されています。

世界は大きな転換点を向かえています。それにどう応えるのか、私たちも正念場を迎えています。「緑とリベラル左派の連合」も一つの重要な課題でもあります。具体的な政策研究・民主主義の実践の中できるとともに検証しあいたいと思います。

緑の党第 10 回定期総会おめでとうございます。大会の成功を祈念致します。

✿ **立憲民主党 政調副会長 衆議院議員 落合貴之**

「緑の党第 10 回定期大会」の開催、誠におめでとうございます。

原発ゼロ、自然エネルギー立国の実現に向け、私もより一層、力を尽くしてまいります。今後ともご指導お願いいたします。

✿ **立憲民主党 衆議院議員 西村ちなみ**

緑の党第 10 回定期総会の開催おめでとうございます。

皆様ご存知の通り、現政権はこの感染症禍においても国民に寄り添うこともなく、ますます国民の暮らしは厳しくなる一方です。このような厳しい状況だからこそ、一人ひとりが安心して暮らせる社会、ウソ誤魔化しのないまっとうな政治に変えていかなくてはなりません。新潟では野党間協議を重ね、引き続き連携を図って参る所存です。

今年は必ず総選挙があります。私、西村ちなみはこの新潟 1 区の議席を再び皆さまと勝ち取るため、戦ってまいりますので引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、緑の党第 10 回定期総会のご盛会と皆さまのご健勝を祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

立憲民主党 衆議院議員 近藤昭一

緑の党第 10 回定期総会は、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催と聞いています。緊急事態宣言が発出されている厳しい状況での総会開催に心からの敬意と祝意を表します。

東京電力福島第一原子力発電所事故から 10 年がたちます。当時の多くの国民の思いは「原発ゼロ」であり、民主党政権は何とかそれを実現しようとしたが、残念ながら自民党菅政権は原発政策を進めようとしています。総選挙が行われる今年こそ、原発ゼロを実現する道筋を皆さんと一緒に作り出していきたいと思えます。

また新型コロナウイルス感染症は、日本の抱える多くの課題を露わにしました。新自由主義から脱却し、どんな時でも、1 人ひとりの命と安全、生活が守られ、格差のない、自然を大切に社会を実現するために共に頑張るまいりましょう。

立憲民主党 衆議院議員 尾辻かな子

緑の党第 10 回定期総会が、コロナ禍の困難な状況の中、関係者の皆様のご尽力により開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、長きにわたり「エコロジカルな知恵」「社会的公正・正義」「参加民主主義」「非暴力・平和」「持続可能性」「多様性の尊重」を掲げて運動を進めてこられたことに敬意を表します。

私尾辻かな子も衆議院議員として、安心して暮らすことができる社会保障制度の確立、共生と包摂、すべての人に居場所と出番がある社会をめざして、取り組みを進める決意です。

本日の定期総会において今年度の方針の確立と、ご参集の皆様のご多幸を祈念いたします。

日韓市民交流を進める希望連帯代表/NPO 法人官製ワーキングペア研究会理事長 白石 孝

10 回大会おめでとうございます。

この 1 年で、内外の状況、人々の暮らしなどが激変しました。

しかし、日本では国政政党、政治団体の混迷ぶりが、問題解決をいっそう遠くのものにしています。

ところが、地球環境も貧困・格差問題も待たなしの状況であり、その解決を実現するための確たる政策とそれを担う人と組織の登場が待たれています。

実際、そう志向する政治団体や社会運動はいくつもありませんが、なかなか大きな流れにまでなっていません。今こそ、緩やかでもいいので、力を合わせ、社会的影響力を持ち得る運動を作り出す時期ではないでしょうか。

弁護士 宇都宮健児

気候危機問題は今や最も重要な地球的課題となっています。この問題に早くから警鐘を鳴らして一貫して取り組んできた緑の党の躍進を期待するとともに、第 10 回定期総会盛会を祈念いたします。

立憲民主党 衆議院議員 菅直人

緑の党の皆様、第 10 回定期総会の開催をお祝い申し上げます。

コロナ禍は「自助」や「自己責任」といった新自由主義的政策を押し進めてきた社会の脆弱性を浮き彫りにしました。今こそ「支え合いの政治」への転換が必要です。

私が総理として直面した福島原発事故から 10 年を迎えます。菅（すか）政権は「2050 年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」と表明しましたが、原発ゼロと再生可能エネルギーの活用で目標を達成すべきです。

秋までに必ず行われる総選挙にむけて、私自身も政権交代をめざして引き続き頑張る決意です。

ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。活動の更なる前進と皆様のご健勝をお祈りし、連帯のメッセージといたします。

立憲民主党 衆議院議員 黒岩たかひろ

緑の党第 10 回定期総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

本日ご参集の皆様には日頃より格別のご高配を賜りまして、この場をお借りし感謝と御礼を申し上げますとともに、日々のご活動に心から敬意を表します。

近年の異常気象は気候変動が一つの要因とされています。そのため、気候変動対策は早急に進めなければなりません。私たちは、パリ協定の 1.5℃目標に向け、2050 年 CO2 排出ゼロをめざし、気候変動対策を進めます。また、原発ゼロ実現のため、技術開発と技術者育成を進めてまいります。そして、未来に対する責任を果たす政治を実現させるため、私も皆様とともに力を尽くしていく所存です。

結びとして、本日、ご参集の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、私からの連帯のメッセージとさせていただきます。

立憲民主党 参議院議員 打越さく良

緑の党第 10 回定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

日頃より中山均共同代表・新潟市議をはじめ、ローカルでグローバルな視点を持ち、草の根民主主義を実践されておられ緑の党の皆さまには、絶大なるご支援とご協力、ご指導を賜っていることに心から感謝申し上げます。

7 年 8 か月にわたった安倍政治はようやく終わりましたが、その後を継いだ菅政権になっても国民不在の政治は続き、隠ぺい体質も変わっていません。感染症禍における後手後手の対応はもはや人災であり、本年必ず行われる総選挙では、なんとしても政権交代を果たさなければなりません。参加されているお一人お一人とともに力を尽くしてまいります。

結びに大会のご盛會と緑の党のますますのご発展と皆さまのご多幸を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

立憲民主党筆頭幹事長代理 衆議院議員 菊田まきこ

緑の党第 10 回総会のご開催、誠におめでとうございます。「緑・にいがた」の中山均代表はじめ貴党の皆様には日頃より大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で、貧富の差はますます拡大し、最も弱い立場の人々に大きなしわ寄せが起きています。そんな中で、政治とカネをめぐる数々の不祥事、緊急事態宣言下で飲み歩く国会議員、人権意識が欠如している東京五輪・パラリンピック組織委員会の森会長の発言等、あってはならない事が相次いでいますが、菅政権、自民党には倫理観も自浄作用もありません。

墮落した政治を正すため、まっとうな世の中を作るため、そして全ての人々の命と暮らしを守るため、来る衆議院選挙に向けて全身全霊戦って参る決意です。貴党の新潟県組

織「緑・にいがた」から、いち早く推薦の御決定を頂戴し、大変心強く有難く、心より感謝申し上げます。

結びに、貴党の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、一言お祝いのメッセージといたします。

立憲民主党 衆議院議員 高良鉄美

余寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃の御党の取組みに心から敬意を表しますとともに、力強い連帯に感謝申し上げます。

さて、コロナ禍において日本社会が大きく変容しております。今こそ私たちは、国民ひとりひとりが安心して暮らせる社会を築くべきではないでしょうか。沖縄において政府は、「これ以上沖縄に基地はいらない」という民意に反し、辺野古新基地建設を強行しています。米軍基地の存在によって起こる事件、事故、環境汚染などは県民の人権を大きく侵害しています。私たちは、このような人権無視の政治と決別し、真に平和で個人を大切に政治をめざし、ともに頑張るまいりましょう。

おわりに、第10回定期総会に際し、「緑の党グリーンズジャパン」のますますの躍進と党員の皆様のご健勝を心から祈念いたします。

立憲民主党政調会長 衆議院議員 逢坂誠二

緑の党第10回定期総会の開催、誠におめでとうございます。

日頃より、私、逢坂誠二の議員活動に対し、皆様の特段のご支援とご協力を賜り、お礼申し上げます。

立憲民主党は、昨年8月、綱領に次の事項を掲げ、新たな船出を致しました。

「私たちは、地域ごとの特性を生かした再生可能エネルギーを基本とする分散型エネルギー社会を構築し、あらゆる政策資源を投入して、原子力エネルギーに依存しない原発ゼロ社会を一日も早く実現します。」

私たちは、この綱領の具現化に向けて、多くの方々と連携しながら進んでまいります。

緑の党の第10回定期総会のご盛会をお祈り致します。結びに、ご参加の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、激励のメッセージとさせていただきます。

立憲民主党 衆議院議員 阿部知子

緊急事態宣言下の第10回定期大会の御開催、お目出度うございます。感染症の猛威が社会を変え、時代をかえることは、これ迄のペストやスペイン風邪でも言われておりましたが、今回、私ともは、温暖化と自然破壊の結果、大きなコロナ禍に見舞われて、環境問題と国際協調の大切さに改めて取り組む覚悟を新たにします。貴党のますますの御発展に期待しています。

立憲民主党 衆議院議員 生方幸夫

「緑の党第10回定期総会」の御盛会を心から御祝申し上げます。

昨秋誕生した菅政権は「2050年カーボンニュートラル」を政権の目玉政策にしました。

その意気込みは、それが心からのものであれば、評価すべきものです。

しかし、現在政府で決定されているのは2030年の削減目標であり、これを大幅に引き上げしない限り、その実現性は極めて難しいもの。

にもかかわらず、所管の経産省・環境省・国交省等での具体的な動きは未だ見えません。

況や今年は福島第一原発事故から10年となります。

私は、皆様方や関係する方々との連携をより深め、一日も早く「原発ゼロ」社会の実現の為に全力を傾注する所存です。

一緒に頑張りましょう。

世田谷区長 保坂展人

本日は「緑の党第10回定期総会」が盛会に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また平素より皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大による今回の事態は、新自由主義やグローバリズムがもたらす格差と貧困の拡大を、さらに明らかにしました。そしてこの世界的なパンデミックの背景の一つとして「気候変動」が挙げられています。

世田谷区では、深刻化する気候危機の状況を踏まえ、区民・事業者の皆さんと地球温暖化の問題を共有し、共に行動していくため、昨年10月16日に23区では初となる「世田谷区気候非常事態宣言」を行いました。宣言において、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことも表明しました。

今後もみどりに恵まれた良好な環境を次世代に引き継ぎ、持続可能な発展と脱炭素社会の実現に向け、取り組んでまいります。

結びに貴党の草の根民主主義に根差したこれまでのご奮闘・ご功績に敬意を表すとともに貴党の今後の益々のご躍進を心よりお祈り致しまして連来のご挨拶とさせていただきます。

日本共産党 衆議院議員 宮本徹

緑の党第10回定期大会の開催おめでとうございます。

みなさまが、常日頃より、気候変動阻止、原発ゼロをはじめ、持続可能な社会と民主主義の発展のために、精力的に活動されていることに、心より敬意を表します。また、来るべき衆議院選挙にむけて、みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。

みなさまの草の根の運動におされる中、ようやく日本政府も2050年までのCO2排出実質ゼロを掲げました。しかし、中身をみると新たな原発推進の動きがある一方、石炭火力発電からの脱却も明確ではありません。

残された期間はわずかです。人類の未来に責任をおうために、真剣に全力で気候変動阻止のために行動する政治をつくるために、みなさんと力を合わせてたたかっていきたいと考えています。ともにがんばりましょう。

立憲民主党 参議院議員 石垣のりこ

緑の党第10回定期総会の開催、誠におめでとうございます。

コロナ禍においてますます深刻度を増す日本の民主主義の危機、東日本大震災からは10年、種としての生存の危機をも孕む環境問題など、気の遠くなるような大問題も、日々の小さな運動の積み重ね以上に有効な解決策はありません。「ある国の文明度を測る唯一の基準は、弱者に対して国がどういう態度を取るかだ」(『武漢日記』著者・方方)の言葉の通り、先進国の一員として恥ずかしくない文明社会を共に実現して参りましょう。

✧ 立憲民主党 参議院議員 森ゆうこ

緑の党 第十回定期大会のご盛会をお慶び申し上げます。
自由・民主主義・平和を守る、貴党のたゆまぬ活動に深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、国民生活、地域経済は危機的状況が続いています。今こそゼロコロナ政策へ転換することが必要です。感染防止を徹底するための十分な支援給付、医療機関への徹底した支援など、「命と暮らしを守る政治」を実現するために、全力を尽くしてまいります。

市民と野党の共闘で、来る総選挙では必ずや政権交代を実現し、立憲主義を回復し、平和憲法の元、子どもたちに輝く未来を約束するために、力を合わせて闘ってまいりましょう。

結びに、緑の党の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いのご挨拶に代えさせていただきます。

✧ 立憲民主党 衆議院議員 佐々木隆博

緑の党第10回定期総会の開催をお慶び申し上げます。日頃から、「地球環境対策」や「原発ゼロ運動」の先頭でご奮闘いただいている党員各位に敬意と感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が再発出され、何事にも自粛を余儀なくされるなど、不自由な生活が強いられております。被災された皆さんにお見舞いとお悔やみを申し上げます。

立憲民主党は、「支え合う社会」「分散型経済」「機能する政府」を掲げ、市民の皆さんとしっかりと寄り添い、誰もが安心して暮らせる「あなたのための政治」実現のため、立憲野党の結集を旨とします。

衆議院解散総選挙は本年中には必ず実施されます。立憲勢力は力を合わせて、草の根民主主義を実践しましょう。緑の党の運動の前進を祈念いたします。

✧ れいわ新撰組代表 山本太郎

緑の党の10回目の定期総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

20年以上のデフレで生活困窮に苦しむ多くの人々に、更なる災害として現れたコロナウイルス。世界で「グリーン・ニューディール」を合言葉に、コロナ後を見据えた経済づくりの大きな動きが本格化したことは、地球に優しい成長は可能だ、というポジティブなメッセージでもあります。

政府の通貨発行により、人々や事業者への大胆な生活の底上げを行い、エネルギー構造の大転換はもちろんのこと、環境負荷の少ない産業にも積極的に財政出動を行うことは、絶対的に必要な施策です。

大胆な財政出動は、日本が、脱原発と化石燃料依存脱却のフロントランナーになるチャンスでもあります。

今年は東電原発事故から10年。このさき、巨大地震がやってくるのがわかっていながら、収束方法もわからない脆弱な事故原発を抱え、

再稼働にこだわり続けるのは常軌を逸している以外に言葉が見つかりません。

脱原発への動きを一層加速する必要があります。

先駆者である緑の党の皆様と、私達れいわ新撰組も協力し合いながら、頑張ってまいります。

✧ 立憲民主党参議院議員 石川大我

緑の党第10回定期総会の開催おめでとうございます。コロナ禍でのオンライン開催ということで皆様とは直接お会いできませんが、会の成功を心より祈念致します。今年3.11から10年目の年でもあります。自民党政権の下で一向に進まない脱原発や気候変動対策、そして私のテーマであるLGBTを初めとする人権問題を真の意味で解決して行くために、また、コロナ禍に全く対応できない政権を変え、私たち市民による政権を勝ち取るために、共に力を合わせ、前に進んで行きましょう。

✧ 立憲民主党 衆議院議員 大河原まさこ

緑の党第10回定期総会のご開催おめでとうございます。皆様の活動や視点にはいつも感服と励まされています。福島原発事故から10年が経ちました。原発ゼロへの道筋を確かなものにするのと、改めて民主主義を問い直さなくてはなりません。皆様とご一緒に歩んでいきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお祈り致します。